

令和7年度第2回 名張市地域公共交通会議 事業推進部会 議事概要

日時：令和8年2月4日（水）
午後1時25分～14時30分
場所：名張市役所 4階 403会議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授）
豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）
澤田 恭子 （名張市地域公共交通会議委員）
前川 尚三 （名張市地域公共交通会議委員）
岡田 美佐子 （名張市老人クラブ連合会女性部副会長）
勝木 祥文 （名張商工会議所 総合商業部会長）

（2）事務局

都市整備部 都市計画室 4名

1. あいさつ

部会長：こんにちは。

本日、議事は2つあります。
皆さまの協力なくして会議は進んでいきませんので、
よろしくお願ひいたします。

2. 議事

【事務局より説明】

（1）令和7年度事業実施状況について

資料1

事務局：資料1ページ②交通安全フェスタについて【事業11】も該当するため
追記をお願いします。

委員：資料1の3ページ⑤赤目滝パークアンドライドについて駐車料金や
バス代についてはどうなっているか。

事務局：三重県の補助金で二次交通を確保するといったところでメニューがある。
補助金も活用しバス代は、一定の補助を得ながらしている。
駐車料金、バス代も無料です。
赤目滝にある保勝会と一緒にしており、バスを利用すると入山料の割引券を渡すなど渋滞緩和に協力してもらいました。

委員：一般の方が、無料の駐車場に停めずに赤目滝の入口の所まで行くことはできるのか。

事務局：赤目滝に行って駐車場に停めることもできます。
渋滞になっていたら、戻ってパークアンドライドを利用することもできます。

委員：赤目滝の近くまで行った人も駐車料金は無料ですか。

事務局：無料です。

委員：例えば、身体障害者や足の不自由な方、高齢の方は近くまでいけるが一般の方はできるだけ無料なので手前の駐車場でなどとしてもよいのではないか。

事務局：事前にホームページでも周知しており、県外の方が来る時など事前情報として、停めることができる方は手前の駐車場でバスに乗り換えてとしている。

委員：県の補助金は、ずっと続くものか。
補助金がなくなった場合どうするのか。

事務局：実証運行後、3年間限定となっています。
保勝会が本格運行した場合に、どのぐらいの人が来れば回収できるかなども含めて実証運行した。集客が見込めそうな日だけ運行など色々と行っていました。

委員：伊勢神宮もパークアンドライドしているが、こちらの方は駐車場を有料にしてバスは無料にしている。
駐車場代で、警備員を雇用し運用している。
補助金がある間はいいが、今後この様な運用に切替えていくことを考えていくといいと思う。

事務局：来年から運行していくと聞いています。
入山料で回収していくというシュミレーションしているようです。

事務局：時期も、紅葉のハイシーズンに限定してやっている。
それでも、雨が降ったら利用者が少ないなど、伊勢神宮のように三が日に

絶対来るといったものではない。

そのあたり、コントロールしながらやっていくといった印象がある。

今後、定着してきましたら高齢者、障害者の方との場所の住み分けを保勝会の方で考えてもらえたと思う。

委員：やり繩りがどうなっているのか気になる。

地区の駐車場なのか、草刈り代など管理について。

部会長：意外に予算が掛かる。

事務局：現在、掛かっている費用は、駐車場代、バス代、警備代です。

委員：今まで、名張在住の方が赤目滝に行くのに駐車場代がネックだった。

今回の取り組みで、赤目滝に行く人が増えた。

委員：パークアンドライドについて、春はしていないのか。

また、あの辺りハイキングコースいくつかあるのでそれとバスが連動するなど自由なことができたらと思う。

事務局：ありがとうございます。

期間については、ゴールデンウイーク、お盆、紅葉、11月とやっている。

委員：資料1、P6のケンコーマイページについて、判子から携帯に変わったが参加の仕方はどのようにになったか。

事務局：今までのイベントに参加して判子を貯めて交換ではなく、貯める時期、貯まつたら年2回抽選し、ナッキー号乗車券が欲しいと希望していれば当たるという仕組み。貰える時期が限定されているが、今までのように100円券が5枚というのを渡している。

委員：私の地域は、コミュニティバスが走っていない。

今回の報告を聞いていてもあまり馴染みがない。

三重交通の路線バスが走っているため難しいと思うが、ナッキー号などを走らせるることはできないのか。

部会長：三重交通の路線バスが走っているからといって、コミュニティバスが走れないということではない。

ただ、コミュニティバスは地域ごとに運行してもらう必要がある。

委員：免許返納している人が多く、タクシー利用すると料金が高い。

バスが利用できれば助かるが、地域の予算上難しく市の方で何かしてもらえばと思う。

委員：コモコモ号のようなバスやタクシー券の補助などがあればいいのでは。

委員：コモコモらいどのようなライドシェアを検討してはどうか。
薦原だけでなく、他市でもやっており一度利用したが便利であった。

事務局：現状、路線バスが走っていないところに、コミュニティバスを走らせて
いるという整理になっている。
しかし、路線バスが走っているエリアでも交通に対して不便に思ってい
るという問題、隠れた課題がある。
今回の意見を整理し地域ごとの課題として解決していく必要があると
思う。
ただ、市の全体交通計画の中でそこの部分に辿り着くには先に解決しな
ければいけないことがあるが、どういった方が不便なのか免許返納者が
多いなど話を聞くと分かってくる。
地域ごとの課題をまず整理していくというのが大事だと思っている。
また、二人の委員が話していただいたことも一つのやり方だと思う。

部会長：現在、国の方でも大幅な制度改正の議論がされているので
今後情報共有させてもらえば。

（2）名張市コミュニティバス「ナッキー号」運行協賛事業者等の募集について

資料2 別紙

委員：これについて、私が前に提案させていただいた部分もあり、会議所を含めて色々
な団体の中で周知し参加いただけるかなという思いがある。
昨年の9月に、今どういう状況でどれぐらいの金額だというFAXを事務局
から送ってもらった。
走っているのを見かけ、色々見比べこれでこの値段だとどうかなど考えた。
現在、ナッキー号の協賛をしているのは景気の良いところが入っているよう
に実感した。
現状、社会情勢としては非常に景気が悪い状況が続いている。
今後、市場や経済状況も変わっていくという期待もあるが、人口減、名張
だと年間700人減っていくといった状況の中で企業も非常に厳しい。
どこから削除していくかというと、広告宣伝費になっている。
掲載箇所にもよるが、月々1万円、年間12万円というのはお願いできる
事業者がかなり限られてくる。
ほっとバス錦は、非常に沢山の企業が貼られて走っている。
年額1万5千円という部分が協賛支援のしやすさだと思う。
大型の三交バスと数人乗りのバンでは、広告価値の差はあると思うが
ナッキー号においていえば月ではなくて年額3万円、年額5万円とかにすれば
企業として協賛してもらいやすいと思う。
というのは、ほっとバス錦が停車しているところを見ればこういった企業が
協賛しているとわかるがコマーシャルとして載せているイメージではない。
このバスが走ることに対して応援しましょうといった協賛だと思う。
バスの側面に、貼ったからといってお客様が増えるとか広告効果があると

いった考えではないと根本的には思っている。

そうすると、目的がコマーシャルとして載せることにしたいのかこのバスを走らせるために企業のみなさん協力してくださいといった立ち位置なのかがわかりにくい。

特に、ナッキー号においていうと大きい看板は会社にとってもプラスになることもあるかと思うが、それで何か協力しようという気になるのは中々厳しいと思う。三交バスが走っているのを見ても、以前は沢山あったが今はあまり広告が付いていない。

やはり、方向性としてみなさんからご協力してもらいやすい価格は如何程なのかというのを考えた。

提案として、年間3万円だとかなり多くの企業に協力してもえると思う。

10社集めたら30万となる。これが年間12万円で何社となるとお願いする方も中々難しい。

できれば、外に看板の大きさは価格に応じでよいが、磁石のパネルを作つて年間いくらという方が入つてもらえると思う。

これなら、私も数社お願ひしたらしてくれるだろうなという気はする。

やはり、月1万円、5千円、8千円というのは中々厳しい。

思いの高いところなら、年間5万円でやってもらえるとこもあると思う。

年間1万5千円、3万円までなら地域の方にもお願ひしやすいのではないか。

ハードルを下げてもらうとお願ひがしやすい。

事務局：協賛事業については、年度末にみなさまにお願いとして広報掲載や企業回りもしているが中々反応がよくない。

提案があった年間3万円であるといった枠があれば聞いてもらう側も反応が違うのかなというヒントをもらいました。

委員：やはり、年額にした方が私はいいと思う。

スタートが1月なのか2月なのか4月なのかはわからないが年額3万円とかすればしてもらいやすいと思う。

商業部会としても協力できると思う。

恐らく、マグネットを作れば事業が普通に進んでいる以上は今月から辞めるといった方はあまりいないと思う。

委員：委員の意見に賛成です。

今回、初めて協賛金の金額を見て1ヶ月1万円と高くビックリした。

バス協会も県の博物館に協賛金をしているが、年間3万円です。

それで、5年約束すると総額が10万円になるといった特典がある。

大体年度末ぐらいになると来年度も協賛してくださいと手紙が届く。

いきなり請求書が届くわけではない。

そうすると、事務所で予算の都合があるので来年度はどうするかそこで相談ができる。

来年度も今年度通り協賛すると手紙で返事をすると、協賛金はいつくださいますかといった手紙がもう一度届く。

今年度中ですか、来年度ですか、4月以降ですかと。

バス協会も決算があるので、新年度の予算で4月以降の支払いになる。
4月以降に請求書をくださいと返事をすると、また丁寧にありがとうございます、
4月以降請求しますと手紙がきます。
5年分払うのか、3年分なのかなどを決める案内が決算までにきています。
委員の言われたように、企業であるので今年は良かった来年は厳しいなといった
ところがあるので一旦そういう丁寧なやり取りをするということが大事だと
思う。

委員：なぜ皆さんに協力してもらうか。コマーシャルしてあげるではなく走らせるため
に協力してくださいとするのが一つだと思う。
結局、寄付する方の意識の問題。
そうなると、委員が言ったことも一つの方法だと思うが、名張といった小さな町
でも私のところにも色々寄付がきます。
まずは、文書できてその後一番効くのは電話です。
事業者は、10万円って言われると少し待ってくださいとなる。
しかし、1万5千円で趣旨が市民のための公共バスとなればそれをできませんと
いう勇気は10万円払うより大変です。
私は、30社、50社あるわけではないので電話1本するだけで効果はよりいつ
そう上がると思う。
もちろん会社の景気にもよるので絶対というわけではないが。

委員：協賛金にもランクがある。3万円の方、10万円の方など。
はっきりと博物館の玄関入り口に協賛金事業者として、高額協賛金の方は太字で
大きく掲示されている。基本金額のところは小さいです。
皆さんもれなく掲示板に掲示されているので、辞めるとなるとそこを消されて
しまう。
バスも委員が言ったように、自社広告ではなくバスの運営に協力しているとい
うことであれば、了解を得て名前を列記して貼る。
このバスの運営にご協力いただいている事業者ですということで。
名前をバスの外に表示することで、ここも協力しているといったことになると
思う。

委員：同感です。

部会長：車外だけではなく、色々な広告物にも入れればいいのでは。

事務局：時刻表とか。

委員：花火のチラシもそうです。枠の大きさで大体どのくらい出したかわかる。

委員：あえて枠をとらなくても協賛している事業者とするだけでも良いと思う。

委員：広報なばかりで協賛の募集を見たことはあるが、ここが応募してくれたなどの結果
は見たことはない。結果も出した方がいい。

年間3万円なら個人でも出せる金額なので、大勢の方出してくれるのでは。

委員：花火も個人1万円などしている。

一般の方、1万円、5千円ならかなりの方がしてくれると思う。

委員：広告料といっているが、企業の決算などでは費用に落とすときにどうなっているか。

事務局：今現在は、広告費という扱いではなくあくまでも協賛金・寄付金といった扱いで企業でもそのようにしてもらっている。

委員：そうとなれば、個人の方でも寄付金扱いで税金免除の確定申告に使えるのか。

事務局：そうです。

委員：そういったことも書いてもらうといいと思う。

部会長：この議事については、年額制で少し費用を抑えた形で検討する。

3. その他

【特になし】